

日本海学の新世紀7 「つながる環境 海・里・山」

編集: 日本海学推進機構

企画: 富山県国際・日本海政策課／日本海学推進機構

発行所: 株式会社角川学芸出版

発行年月: 2007 年3月

価格: 1365 円



『日本海学の世紀7 つながる環境 海・里・山』 目次		
はじめに		
はじめに	日本海学推進機構	
2006 年度日本海学シンポジウム「海から見つめる環境 つながる海・里・山・空」		
講演 気象予報士から見た日本海と空 水中カメラに映る北陸の日本海	平井信行 大田希生	気象予報士 水中カメラマン
パネルディスカッション つながる日本海環境 ー海・里・山	コーディネーター 一中井徳太郎	金融庁協同組織金融室長
	益田玲爾	京都大学フィールド科学教育研究センター 助教授
	佐藤洋一郎	総合地球環境学研究所教授
	稲本正	オークヴィレッジ代表・トヨタ白川郷自然学 校校長
つながる自然・環境・文化		
日本海文化論を世に問うて二八年 ー水がつなぐ環境を見つめて	富山和子	日本福祉大学教授、立正大学名誉教授
崩壊する里山！里山再生への私たちの取り組み	中村浩二	金沢大学自然計測応用研究センター生物 多様性研究部門教授
里山における人と生物の共存	山本茂行	富山市ファミリーパーク園長
<エッセイ> ホタルイカ、GDPと本当の幸せ、そし て持続可能な漁業	枝廣淳子	環境ジャーナリスト

＜エッセイ＞ 環日本海に環境樹を育てる	三橋規宏	千葉商科大学政策情報学部教授
＜エッセイ＞ 海から始まる国づくり	木内孝	NPO法人・フューチャー500 理事長 (株)イースクエア会長
海と里をつなぐ日本海の「里海」論	柳哲雄	九州大学応用力学研究所教授
つながる海が語る海洋環境 ー東シナ海～日本海 植物プランクトンの視点から	石坂丞二	長崎大学水産学部教授
「緑の国土軸」をつなぐ	小泉格	北海道大学名誉教授
環日本海におけるサステナビリティー経済圏の意義	鶴謙一	ウエールズ大学大学院環境プログラム特任教授
日中「異文化」の彼方へ ー西洋と東洋の間で揺れ動く日本をどう見るか	王敏	法政大学国際日本学研究所教授
＜エッセイ＞ 森の中の＜むら＞で知った「生き続ける営み」から	足立原貫	NPO法人農業開発技術者協会・農道館理事長
＜エッセイ＞ 若者にもっと海を語ろう	石森繁樹	富山商船高等専門学校名誉教授
＜エッセイ＞ 環日本海交流の方向 ー日本海との共生を目指して	野村允	大連大学客員教授
＜エッセイ＞ 海の恵みとの共生 ー地域資源・富山湾深層水を活かす	葭田隆治	富山県立大学短期大学部教授
日本海を北から俯瞰する		
＜インタビュー＞ 海峡の町に生きる ー青森県下北郡大間町長・金澤満春氏に聞く	(構成)角川学芸出版 熊谷健二郎	
＜エッセイ＞ 国境を越えて	佐藤文一	秋田県産業経済労働部長
日本海学の提唱	富山県国際・日本海政策課	
著者紹介		
編集後記		